

# 全国社会福祉協議会会長賞 受賞 上賀茂社会福祉協議会 全国表彰に輝く

# 上賀茂社協だより

H30年12月18日  
第45号  
発行：上賀茂  
社会福祉協議会



この度、全国でも特に優れた地域の社会福祉活動を讃える「全国社会福祉協議会会長賞」を、十一月に東京で開催された全国大会で、全国の三十八団体と共に上賀茂社会福祉協議会が受賞しました。

この受賞は、平成二十四年から上賀茂小学校で実施している子ども達と共に福祉を考え実践

## 上賀茂社協が全国表彰

京都市役の上賀茂社会福祉協議会が、全国でも特に優れた福祉活動を行った「全国社会福祉協議会会長賞」を受賞した。五十年の歴史を誇り、障害者や認知症のお年寄りの福祉を高める福祉教育を地元の「上賀茂小美談」しきり広げ、高年齢化が進む中、福祉協議会として、国・都道府県表彰を受けた。

「共に生きる」精神 地元児童に根付かせ…



### 車いすや障害者スポーツ体験授業

「子どもたちが社会に出る助けになることを願って」と、上賀茂社会福祉協議会の中継会長(京都市役)が、車いすや障害者スポーツ体験授業の様子を説明している。同協会は、平成二十四年から上賀茂小学校で実施している「上賀茂小美談」しきり広げ、高年齢化が進む中、福祉協議会として、国・都道府県表彰を受けた。

(12月7日付 京都新聞朝刊より)

地域の皆様や関係団体の皆様のご苦勞や常日頃のご協力のたまものと感謝いたしております。今後とも、ふれあいのあふれる福祉の町づくりのために一層のご支援ご協力をよろしくお願いたします。

## 共に生きる福祉教育 上賀茂小の四年生の皆さんと

「福祉とは、①ふだんの、②くらしが、③しあわせになること。」と、六月の第一回の授業で聴覚に障害のある講師の福村賢二さんは、四年生の子ども達に語りかけました。



小さな段差も車いすでこえるのは大変だね

今年度の共に生きる教育活動は、六月の聴覚に障害のある講師のお話や手話によるコミュニケーション、七月の車いす介助の実験と肢体不自由の方の話、九月の社会福祉法人「ユーカーリの里」の皆さんによる認知症についての理解や実際に高齢者と接する体験型のワークショップ、十月の地域のお年寄りとのふれあい給食や視覚障害者のためのスポー



「ゴールボール」などの学習を積み重ねてきました。様々な人とふれあい、共に生きていくために一人ひとりができることは何かを友達と一緒に考え学んだことを、先日の学習発表会で生き生きと発表する子どもたちの姿に、学習のお世話をしてきた社協スタッフも励まされています。

### フタの丸洗い乾燥事業を 実施しました (一〇月二五日)

上賀茂社協では、寝たきりの方や六十五才以上のひとりぐらしの方に、フタの丸洗いサービスをを行っています。今年度は二十二名のご利用があり、その日の内にお届けすることができました。



気持ち良くお休みいただけたいでしょうか。

社会福祉協議会の賛助会員募集活動へのご協力ありがとうございました。